



顧客成功事例

Linuxup

レガシー技術からの脱却





顧客： LINXUP

Adam LaMore
Vice President of
Engineering at Linuxup

“
今では、私たちの将来の成長
計画すべてを支えるデータ
ベースが整いました。

Adam LaMore
Vice President of Engineering at Linuxup



概要

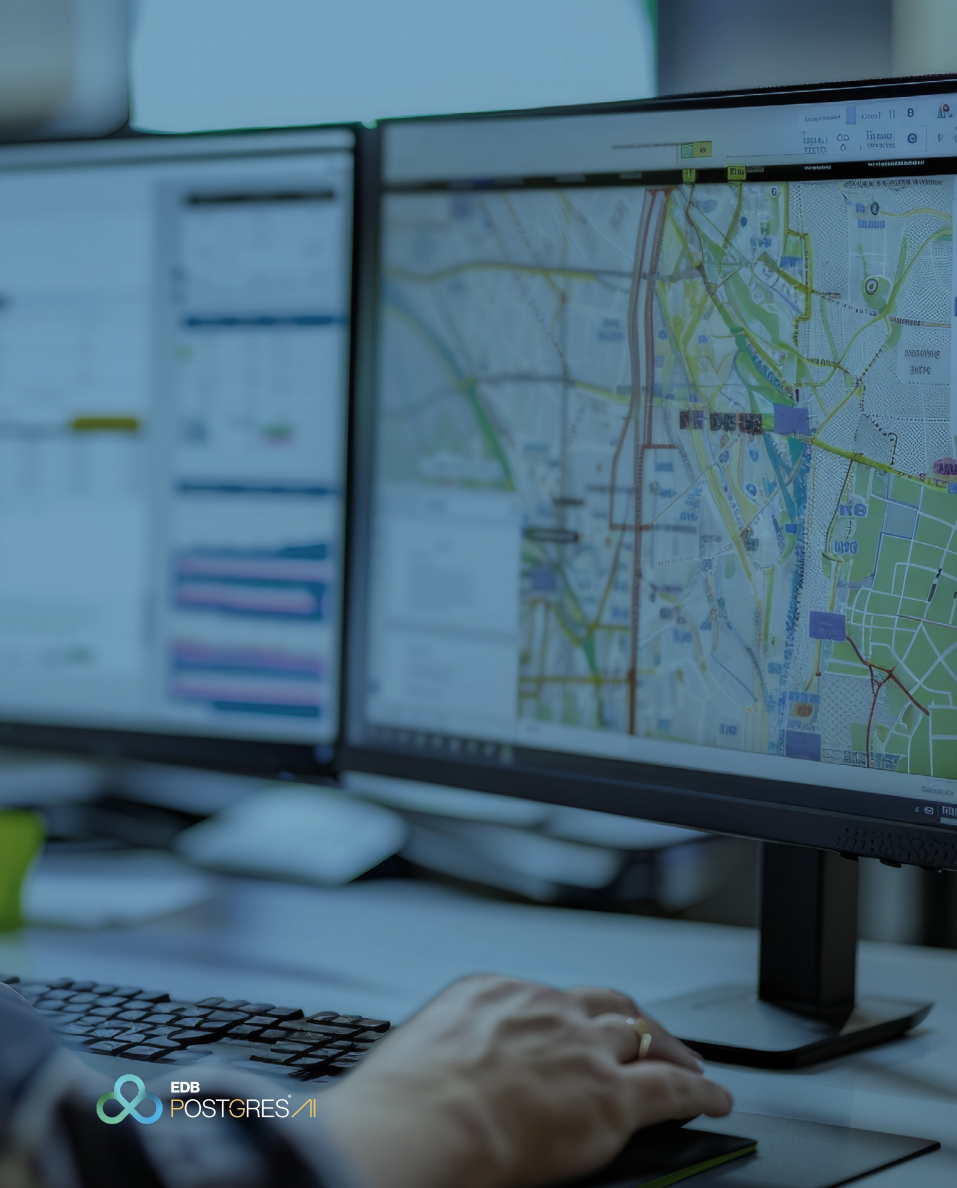
GPS 追跡ソリューションのプロバイダーが、データベースを刷新し、 ゼロダウンタイムで Postgres クラウドへ移行

もしレガシー技術に縛られていなかったら、どんな可能性が広がるでしょうか。イノベーションはどんな姿になるのでしょうか？ どれほどの成長を実現できるのでしょうか。位置情報を活用した車両管理ソリューション「Linuxup」は、まさにその答えを見つけようとしていました。



データが増えれば、課題も増える

Linuxup が属する GPS 追跡デバイス市場は、2023 年には推定 31 億ドルと活況を呈し、商業分野の需要増加により 2028 年には 56 億ドルまで成長が見込まれています。朗報は、Linuxup がすでに中小企業向けの市場シェアを急速に拡大していたこと。しかし残念なことに、彼らのデータベースはこれ以上の需要増加には耐えられそうありませんでした。



30,000 社以上の企業が Linuxup を利用し、20 万台を超える車両や資産を管理しています。この取り組みにより、サービスの質向上、コスト削減、利益の増加を達成しています。GPS 追跡デバイスは、特に EC や物流分野で欠かせない存在となり、車両の安全性向上や燃料の無駄を見つけることでコストを削減し、正確な到着予測や配送ルートの最適化など、事業運営に必要な豊富なデータを提供しています。Linuxup のユーザーは、自社の車両の正確な位置を常に把握できます。実際、Linuxup が処理するデータの 90% 以上は時系列データであり、数十万台の追跡デバイスから絶えず収集され、2 年間運用環境に保存されています。

Linuxup は驚くことに 11TB のデータを処理していました。顧客の増加に伴い、データの取得速度と量が急激に増加しています。データベースの書き込み拡張性やメンテナンスの課題に常に直面し、長期間のシステム停止を避けるために、旧バージョンの PostgreSQL を使わざるを得ませんでした。これは顧客にとって受け入れがたいことです。Linuxup のシステムは危機的な状態にあり、問題が起こるたびに対処策を講じていました。

顧客基盤とビジネスの未来が危機に瀕していました。「信頼性は我々の評判にとって非常に重要です」と Linuxup のエンジニアリング担当副社長、Adam LaMore 氏は述べています。「お客様が Linuxup を常に利用できる信じられなければ、他のサービスに移行するでしょう。」

ダウンタイムゼロで最速かつ安全なソリューションを探す

Linuxup は、企業向け Postgres のリーディングカンパニー EDB との提携を決定しました。Linuxup が提示した、他の多くの供給者には難しい絶対必須条件のリストも、EDB は自信を持って受け入れました：

- 世界中から数十万件規模のデータが、同時にひとつのデータベースに書き込まれる必要があること
- 拡大し続ける 11TB の大容量データベースを、サービスを止めずにアップグレードすること
- 運用効率とコストメリットのため、性能を落とさずクラウドへ移行すること

Linuxup と EDB のチームは連携して課題に取り組み、EDB Postgres Distributed を通じて持続可能な解決策を見出しました。LaMore 氏によれば、このアーキテクチャはアプリケーションの変更を最小限にしながら、将来的な水平スケーラビリティへの対応も実現可能です。エンタープライズレベルのソリューションを導入したことで、Linuxup はダウンタイムなしで最新の Postgres バージョンへのアップグレードを遂げました。ダウンタイムをゼロにすることは、Linuxup の顧客やサービスを利用する全ての人々にとって極めて重要でした。小売配送トラックが正確な到着予定時刻を示したり、緊急車両が最適なルートを通行したりするなど、20 万社に及ぶ企業が車両を継続的に追跡することの影響は計り知れません。

EDB の新たな機能とアップグレードにより、アプリケーションの水平書き込みスケーラビリティが大幅に向上しました。「今後は書き込みのスケーラビリティの課題が解決されたため、データベースを停止せずに常に PostgreSQL の最新バージョンを利用できるようになりました。」「さらに、以前よりも遥かに強化されたシームレスな災害復旧体制が整った」と LaMore 氏は述べています。

クラウドの力を最大限に活かし、未来へジャンプ

次に、Linuxup は EDB と協力し、ハイブリッドクラウドを経ずに完全クラウド化へと舵を切りました。数年先の目標だったこの戦略も、EDB ならではの強みで大幅に加速。Linuxup はクラウドの可能性を信じ、移行期間中も EDB がデータベースのパフォーマンスを維持してくれると確信していました。最終的に、クラウドベースの PostgreSQL インフラを実現し、LaMore 氏は「すべてがさらにスムーズに進んだ」と証言しています。技術的なトラブル対応やデータの整理に時間と労力を費やす代わりに、LaMore 氏のチームはより価値の高い業務に集中できるようになり、チームの士気もビジネスも向上しました。現在は、EDB のチームが日々の運用や管理もサポートし、不審な動きやメンテナンスのタイミング、ディスク容量が少なくなった際は Linuxup に通知。その連携により、LaMore 氏の少数精鋭の開発・運用チームは、顧客向けの新たな価値創出に専念できるようになりました。

LaMore 氏は「EDB のソリューションは期待通りに機能しています。パフォーマンス面でも、以前のようにシステムが過負荷となり、対応に追われることはありません。安定したパフォーマンスと高まる信頼性で、今後の成長計画にも十分対応できるデータベースを手に入れました」と締めくくります。レガシーシステムに縛られることなく、EDB の力で Linuxup の成長とイノベーションの可能性が解放され、20 万を超える顧客にも良い影響をもたらしました。



EDB Postgres AI について

EDB Postgres AIは、企業向けのオープンで先進的な主権データ&AIプラットフォームです。セキュアで法令順守、さらにオンプレミスとクラウド双方で完全なスケーラビリティを実現します。世界規模のパートナーネットワークに支えられ、EDB Postgres AIはトランザクション処理、分析、AIワークロードをひとつに統合し、データとLLMが必要な時、場所、方法で運用できる環境を提供します。詳しくはwww.enterprisedb.comをご覧ください。